

【 第26回 世界学生選手権 】

2016年6月27日～7月3日 スペイン/マラガ

試合結果報告 7月2日 (土)

JAPAN	VS	CZECH
10	前半	14
18	後半	12
28	合計	26

個人得点

名前	前半	後半	合計
茶園 遙			0
堀川 真奈			0
石井 優花	2	1	3
佐々木 春乃		6	6
角南 果帆		1	1
大山 真奈		1	1
河嶋 英里		6	6
秋山 なつみ		2	2
松本 ひかる	4	1	5
三田 未稀	3		3
岩淵 いくみ			0
板野 陽			0
北原 祐美			0
佐原 奈生子			0
徳永 千紘	1		1
馬場 敦子			0
合計	10	18	28

試合結果

戦評

今大会最終戦、5-6位決定戦となった日本はチェコと対戦。大会前のトレーニングマッチでは勝利している相手であったが、立ち上がりからNo.18のカットイン、速攻などでリードを奪われる。追いつきたい日本だが、パスミス、シュートミス等が続き、思うようにリズムが掴めず日本はタイムアウトを請求。タイムアウト後、松本の速攻で1点を返すも再びNo.3のサイド、No.9のスピードあるカットインなどで3連取され1-7と序盤で大きくリードされる。中盤に入り点を取り合い、日本にも攻撃のリズムが出てくるも、チェコもスピードとパワーを生かした攻撃で得点をあげる。しかし、日本は石井の速攻をきっかけに、徳永の速攻、三田のカットインなどの連続得点で徐々に点差を縮め、10-14と4点差まで追いついて前半終了。後半に入り、立ち上がりから松本の速攻、佐々木のロングで日本がペースを掴んだかに思えたが、ここから日本にテクニカルミスが続き、逆に点差を広げられ後半10分で6点差と苦しい展開となる。しかしここからエース佐々木のロング後半途中から出場のサイド河嶋の連続得点などで一気に2点差まで追いつき、14分にチェコはタイムアウトを請求。タイムアウトで落ち着きを取り戻したいチェコであったが、日本のGK馬場を中心とした固いDFを攻めきれることができない。その間、日本は河嶋の速攻、佐々木のミドルシュートなどでついに同点に追いつく。攻撃の手を緩めない日本は、河嶋のサイド、速攻などでついに逆転する。対するチェコもNo.17のロングなどで追いつがるが、日本は河嶋の速攻で2連取し勝負を決めた日本が28-26で勝利し5位で大会を終

えた。選手・スタッフ全員が最後まで勝利を信じ、あきらめず戦った結果であった。彼女たちの今後の活躍に期待したい。

報告記入者 :

横手 健太